

10月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成24年10月4日(木)
- 2 開催場所 教育委員室
- 3 出席した委員 神吉委員長、吉田委員、桃田委員、森委員、石堂教育長
- 4 出席した職員 小田教育総務部長、田淵教育指導部長、佐藤教育総務部次長、諏訪教育指導部次長、松尾教育指導部参事、小林教育総務課長、西田学務課長、奥野社会教育・スポーツ振興課長、仲田青少年育成課長、富原教育研究所長
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事の要旨
 - 開会 午後1時59分
 - 会議録署名委員指名のこと
神吉委員長、吉田委員に決定
 - 9月定例教育委員会会議録報告承認のこと
(事務局より会議録朗読報告)
承認
 - 会議公開の可否決定のこと
協議事項1「教育委員会委員長の選挙及び同職務代行者の指定について」
は非公開とし、他は公開することに決定

(専決報告)

- 1 加古川市スポーツ推進委員の解職について
(教育指導部次長より説明)
承認

(委員)： 今回の解職後の補欠委員の委嘱は考えているか。

(事務局)： 現在のところ考えていない。

規則により委員は 56 人以内とされている。今回の解職により委員は 48 人から 47 人となる。

(協議事項)

- 1 教育委員会委員長の選挙及び同職務代行者の指定について
(教育総務部次長より 説明)

(議事を非公開とする。)

- 2 加古川市文化財審議委員の委嘱について
(教育指導部次長より 説明)

承認

(委員)： 条例には、文化財審議委員会は文化財の保存及び活用について審議するために置かれる旨の記載があるが、どうしても保存という点に重きが置かれているように思う。

文化財の活用に関しては、市有の文化財をどのように活用していくのか、また、子ども達と各校区に存在する文化財との関わりを学校教育と絡めてどのように進めていくのかなどについて、文化財審議委員会で議論される必要があると考える。

例えば校区探検マップを再版し、活用度を高めるなど、文化財調査研究センターを含めて、様々な部署で横の連携を図りながら進めていただきたい。

(事務局)： 今回ご意見いただいたことを受けて、検討していきたい。

(委員)： 自分達の住むまちの文化財を知り、関心を持たせることで、地域に誇りを持つ子どもが育つと考える。縦割りにならないよう、学校教育や社会教育委員と横の繋がりを意識し、文化財の活用を考えてほしい。

また、有形文化財だけではなく、無形文化財や慣習のよ

うなものについても多く残していったほしいと考える。

◎ 次期定例教育委員会予定日のこと

11月1日（木）午後2時～ 教育委員室で開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 平成24年第6回加古川市議会〔定例会〕日程（案）について

11月30日に開会となり、12月3日、4日に一般質問、5日に常任委員会を経て、11日に閉会予定である。

(2) 校長面談について

10月中に、全学校長に対して面談を行う予定である。

○ 教育総務部長報告

(1) 平成24年9月市議会人事案件について

9月21日（金）に開催された平成24年第5回市議会定例会において、桃田委員と石堂委員を教育委員に任命することに同意された。

(2) 幼稚園児（5歳児）の募集について

平成25年度入園の幼稚園児（5歳児）の募集が、10月3日（水）から12日（金）まで行われ、その後は随時申し込みとなる。

入園許可証の発送は平成25年1月下旬頃の予定である。

(3) 地区別行政との懇談会（野口地区・両荘地区）について

9月25日（火）に開催された野口地区の懇談会で、「プレハブ校舎にエアコン設置」「年少児希望者全員受け入れ」について議題があった。

また、9月27日（木）に開催された両荘地区の懇談会では、「幼稚園専用の駐車場確保」「いじめの現状と取り組み」について議題があった。

以上、3件について報告。

○ 教育指導部長報告

(1) いじめ相談シート調査の実施について

市内全小中学校で統一した調査を実施することで、今一度いじめの実態を把握し、その解消に向けた取り組みを行うとともに、子どもや保護者へのいじめ防止の意識高揚を図る。

10月中旬に、小学校4年生から中学校3年生までを対象に実施する。

なお、小学校1年生から小学校3年生までについては、啓発チラシを配付し、各家庭においていじめについて話し合っただき、課題があれば学校へ相談いただくような形をとる。

また、幼稚園児についても今回の調査の対象とはしないが、必要に応じて啓発チラシの配付を行い、家庭で話し合いをする機会づくりを進めていきたい。

(2) 平成24年度加古川市少年善行賞表彰について

10月29日(月)に総合福祉会館にて、青少年の健全育成に資するため、他の範となる善行を行った本市の児童生徒に加古川市少年善行賞を授与する。

対象者は小・中・養護学校41校の45名の児童生徒の予定である。

(3) トライやる・ウィーク(後期)の実施について

11月5日(月)～9日(金)の間、氷丘中、山手中、平岡南中、別府中、加古川養護学校の生徒853名を対象に実施する予定である。

(4) オープンスクールの実施について

各校で、オープンスクールを実施する。自由に授業参観が可能である。

(5) 平成23年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について

兵庫県下においては、暴力行為については、平成21年度より3年連続で減少している。内訳については、「生徒間暴力」が最も多くなっている。

いじめについては、県での発生件数は全国平均を下回っている。様態としては、「冷やかしやからかい」が最も多い。

不登校については、小中学校とも前年度と比較してほぼ横ばいである。

また、加古川市では、暴力行為は、小中学校全体で1,000人あたり発生件数が0.2件で、全国や県の平均を大きく下回っており、落ち着いている状況である。

いじめについても、1,000人あたり0.5件となっており、数字では全国や県を下回っているが、今後もさらにいじめの未然防止や早期発見・早期対応に取り組んでいきたい。

不登校については、不登校率では全国、県と比較すれば下回っている

が、平成 23 年度の加古川市の不登校児童生徒は 205 名おり、今後も引き続き不登校対策の取り組みが必要である。

(委 員) : 発生件数とは何を集計したものなのか。

(事 務 局) : 月に一度、各学校に対して問題行動発生調査を行っており、そこで報告される暴力行為、いじめ、不登校等の件数である。

(委 員) : 件数が少ないことは良いことかもしれないが、実際に報告された問題行動等に関しては、どのような改善策や改善傾向があるか。

(事 務 局) : 深刻な事案については、実態調査を詳細に行ったり、その後の進捗状況について報告を受けている。

また、問題が継続するものについては、学校の要請により、教育委員会が学校と保護者の仲介を行う等して、問題解決に協力している。

(委 員) : 全般的に件数が減少していることに伴い、内容も軽微になっているのか。もしくは個々の問題は深刻化しているのか。

(事 務 局) : 大津市の件の報道等に保護者が触発され、この機会に学校へ相談をされる件数が増え、その中で感情的になって加害者に対して過剰な要求をされる場合があり、それぞれの問題は深刻化する傾向にあると感じる。

平成 23 年度に報告された 13 件、今年度の 8 月末現在で報告されている 6 件のいじめについては、解消されているものと認識している。しかし、大津市の件の報道等をきっかけに保護者が再び不安に感じ、改めて相談されるなど、問題の深刻化に繋がるケースもあるため、解消後も、再燃の可能性を意識しながら対応に取り組んでいきたい。

(委 員) : 教育においては、学校だけではなく、家庭や地域の責任も大きいと考える。

今回実施するいじめ相談シートは、親と子どもが一緒にいじめを考え、親が子どもを知る機会としてもらいたい。

(6) 人権ふれあいフェスティバルの開催について

中央隣保館、志方会館、西部隣保館、東部隣保館において、身近な人権を考えるフェスティバルを開催する。

(7) 平成 24 年度市内公民館登録団体代表者研修会の開催について

市内公民館の 464 の登録団体のうち、約 120 名の登録団体代表者等を対象に、10 月 27 日（土）に加古川市立尾上公民館において、講演会を開催する。

講師は加古川市男女共同参画センターの男女共同参画推進専門員の石黒周さんの予定である。

以上、7 件について報告。

○ 閉 会 午後 3 時 13 分